

SPLASH

VOL. 82

自動車のエネルギー

大竹英明

2024.4.1

発行元：三信倉庫株式会社

発行責任者：大竹英明

編集責任者：木村嘉宏

自動車のエネルギー源は、長い間、石油（ガソリン、軽油）というのが当たり前でした。しかし、温暖化をはじめとする環境問題や、技術の発展により電気（電気自動車：EV）、水素（燃料電池自動車：FCV）と多様化してきています。それに伴って、供給源もガソリンスタンドがあればよかったです。EV、FCV 用に EV 充電器、水素ステーションなどの整備も進められています。まだまだ十分とは言えませんが、それでも街中で見かけるようになり、急速に普及してきているように感じます。

ところで、それぞれ常温では、石油は液体、水素は気体ですね。これらと電気を貯めるバッテリーについて、それぞれのエネルギーの効率を比較すると、体積当たり、重量当たりのエネルギー密度は高い順に液体、気体、バッテリーで、実用化しているバッテリーで一番密度の高いリチウムイオンバッテリーと比較しても、液体は数百～千倍のエネルギー密度があるそうです。つまり、同じエネルギーを貯めようとする、液体ではバッテリーの千分の一程度の体積、重量で収まってしまうということです。また、気体よりも液体の方が、取り扱いがしやすいのは、感覚としても分かると思います。このような観点から、石油の良さが改めて見直されているそうです。

ただし、また石油に戻るといえるのでは、環境問題や石油の枯渇問題が解決されません。そこで現在、石油を人工的に作るという研究が進んでおり、合成燃料（e-fuel）と呼ばれて実用化に向けて実証実験等を行っているそうです。具体的にどのようにするかというと、中学の理科になりますが、石油は炭素（C）と水素（H）とで出来ています。炭素は大気中や工場の排煙などの二酸化炭素（CO₂）から、水素は水（H₂O）からそれぞれ回収し、合成することで製造します。原料が大気中にある、または放出される二酸化炭素なので、自動車が走って二酸化炭素を排出したとしても、プラスマイナス0です。さらに、既存のガソリンスタンドがそのまま使えます。

このように、少し前までは解決策だと思われていた EV や FCV も、研究が進み、状況が変わるにつれ、変化しているようです。解決策は一つと決めつけずに、周りを見渡しながら考え方を柔軟に判断していくのが最適なようです。



in 名古屋

倉庫業青年経営者協議会 企業交流会



城南島流通センター
呉賀 直弥

2月28日～2月29日(まさかのうらう日)の日程で、倉庫業青年経営者協議会の企業交流会に初参加させて頂きました。今回の場所は人生初上陸になる名古屋！TOYOTA モビリティパーツ岐阜支社とトヨタ産業技術記念館を見学するというTOYOTA フルコースを体験させて頂きました。さすがお蔭元！！

■ TOYOTA モビリティパーツ岐阜支社

#01

どんなところなのかとの説明をさせて頂きますと、TOYOTA 車で使われる数万点にも及ぶ部品をメーカーから集め、各得意先に販売・配送を行う物流拠点となっております。

入庫・在庫管理・ピッキング・パッキング、我々にもなじみのあるお仕事をを行う拠点なわけですが、そこは世界の TOYOTA。さぞ最先端の設備で作業していると勝手に思っておりましたが、これが意外にもアナログなシステムにて業務を行っていることに、まずびっくり。作業計画・人員管理、出庫の進捗管理、積込の進捗管理すべてにおいて、電子モニター等のものを一切使わず、壁面に設置されたホワイトボードにマグネットを置いていくといった感じで管理が行われていました。その分、業務の平準化については徹底的に工夫がされており、作業進捗の僅かの遅れも見逃さない様な仕組みになっておりました。

これであれば営業所でも行えるというような仕組みが多数あり、おおいに勉強させて頂きました。



■ トヨタ産業技術記念館

#02

トヨタグループ発祥の地(織機工場を改築)にあり、歴史から未来を展望する記念館です。

自動織機～自動車に至るまでの歴史に始まり、自動車製造に伴う障害、それを乗り越える情熱と努力がところ狭しと展示されている感じは、TOYOTA ファンならずとも相当胸熱な記念館でした。時間が足りなくなるらしいとの想定のもと、綿密な計画をたて、万全な体制で臨んだつもりでしたが、最終的には少々時間が足りなく感じるほどでした。

同行して頂いた高野さんに撮って頂いた写真でもテンションが上がっている様をご覧いただけるかと思います。



感想

今回は企業交流会という形で名古屋を訪問させて頂きましたが、新幹線であれば、本当に通勤できるかもしれないという感じで行ける距離であると実感しました。

美味しくてびっくりした名古屋めしの数々を含めて、大変魅力のある街だと確信しました。

みなさんも機会があれば1度は名古屋に行こみゃあ！です！！



投稿 3.4 万件

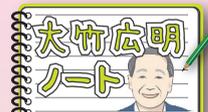
フォロー

年明けに行われた新年会の様子をお届けします

トップ

最近

Reported by 総務部



「お客様は神様か」

昨今バワハラやセクハラ果てはモラハラなる新語が世間を席巻している。先日NHKテレビを見ていたらカスハラが話題になっているという。カスハラとはカスタマー（顧客）ハラスメントの略語らしい。番組中、スーパーのレジ係や看護師が、客から上から目線の嫌がらせを毎日受けているとの証言があった。

昭和時代、歌手の三波春夫が歌の合間に「お客様は神様でございます」と観客に向かって言った言葉がやはり、現代なら流行語大賞に匹敵するだけのセンセーショナルな巻き起こした。しかしこの言葉が独り歩きしてしまい、客↓（金を払う人）は偉いのだと思いついてしまふ人が出てきた。はたして商人と客の間には上下関係があるのだろうか。

物やサービスを提供する対価として貨幣が使われる。ここでは物・サービスと貨幣の等価交換が成立する。客は支払う金額に等しいと思って、商人に代金を払うに過ぎない。お金を払う人は決して偉くはないのである。

この等式を頭に抱いていれば、コンビニで商品と引き換えに代金を払うとき「ありがとう」と言ってもおかしくない。食堂で飲食代を払うときに「ありがとう」というのも自然だ。トイレ掃除をしている人に「ありがとう」と言えば、その人は一日明るい気持ちで仕事に励むだろう。

コロナ禍で会話が減り、SNSで顔が見えない意見が行きかうこの時代。商取引の意味合いと言葉の大切さを再認識したいと切に思う。



新人研修日記 @アクア品川八潮

アクアララ (9:00~)

まずはボトルの検品から！

返品されてきたボトルに汚れが付着していないか、廃棄目安となるボトルの製造年を過ぎていないか等、細かくチェック！

見れば見るほど分からなくなって作業はどんどんゆっくりに、私たちは血眼に… (笑)

お手本の圭吾君は素早いのに正確な検品で微細な塗料の付着も見逃しません！さすが！ (喜多)



ボトルの検品の次は白衣に着替え、製造室へ。ここでも圭吾君が先導して、水道水がアクアラのお水になるまでを説明してくれました！

ターベル次亜過酸化蒸留水！消毒はなんと4工程にも及ぶそうで、薬品の説明も、製造に滞りないよう、始業前に品質管理を済ませるそうです。

おいしいお水の製造過程は驚きに満ちていました！

皆さん優しく接して下さりありがとうございました！ (喜多)



ライン作業では、流れてくるボトルを拭いてコンテナに入れる体験をしました。一連の流れを説明してくれた吉田君は、ボトルという船を操る水夫のようでした。船は、製造室での消毒・洗浄を経て航海を続け、我々水夫見習いによって表面の水 droplet を拭きとられます。やがて船は、パレットの前に迎いかかります。そこが船の離陸地点です。船は持ち上げられ、パレットにきれいに収まっていきます。流されまいと逆らいながらも自らの手で漕いで行くその様子は、まさに宙船 (そらふね) でした。(清原)



編集・デザイン
謝 謝 清 原

ランチタイム (12:00~)

レールゲートに移動してからは、待ちに待った昼食ということで、レールゲート内にある食堂で食事をしました。高校、大学を思い出させてくれるような雰囲気、ラーメンや定食など各々がいろんな表情で食べていました。(清田)



品川八潮営業所 (13:00~)

男性陣と女性陣分かれての作業となり、男性陣はブラジルへ輸出するラーメンにケースマークを貼る作業ということで、思わず「ブラジルの人間こえますか〜？」と言いたくなるような作業でした。シール貼りは城南島でもやっていましたが、思ったよりも

まずまだまだだなど感じました。その後女性陣と合流し、重たい塩を箱に入れ計量する作業では、かなりの重さだったのでみなさん良い筋トレになったのではないのでしょうか。(清田)



研修後記

最初で最後の営業所をはしごしての新人研修でした。品川営業所の休憩時間では岡本さんにいただいたディズニーのお菓子をみんなで食べました。とてもおいしかったです！岡本さん、ありがとうございました。

品川八潮営業所は新しくきれいで、個人的にいちばん感心したのはお手洗いの日当たりの良さでした。事務所と倉庫のアクセスが非常に良く、事務所と現場それぞれで働く人の物理的な距離の近さに驚きました。これからどんなモノを取り扱うのか気になるところです。

品川営業所と品川八潮営業所のみなさま、お忙しい中ありがとうございました！ (清原)



1 創立記念品 総務部

今回はぺんてるの最高峰のシャープペンシル「オレンズネロ」(名入り)です!「nero(ネロ)」はイタリア語で黒のこと。芯が折れない「オレンズシステム」、ノック不要の「自動芯出し機構」等、ぺんてるの技術力を結集した究極の逸品です。製造・組立てが手作業のため、出荷本数も限られ品薄状態。各店舗に問合せを重ね、なんとか人数分ゲットすることが出来ました。

実際に使用してみると最初のワンノックのみで書き進められるので、手を止めることなくストレスフリー♪学生時代に手に入れていれば、集中力も増してもっと受験勉強が頑張れたはず?普段使いの筆記用具として愛用してもらえたら嬉しいです。



2 年賀状制作秘話 福井蘭子



今回は、26年ぶり(!)の新規開設営業所である「品川八潮営業所」を前面アピール!!まずはみなさんに知っていただくこと、特徴的な東京レールゲートの建物をかわいく表現し、「シナパチ」の愛称を大きく目立つようにデザインしました。

こだわりは何といってもランプウェイ!一目でそれと分かるように立体的に描くのにもちょっと苦労しました。

そしてシナパチの最大のアピールポイント、陸・海・空の物流ジャンクションとしての魅力をアイコンで分かりやすく表現しました。

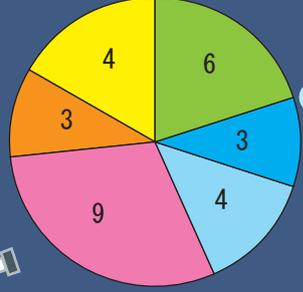
来年もサンシンらしいアイコン的な年賀状が作れるよう、スタッフ一同頑張ります。



3 クラブ活動報告 総務部

去年の6月から旧部活制度に代わって新たな試みとして始まったクラブ活動制度。皆さんご活用いただいていますでしょうか?このクラブ活動制度、今までのどのくらいの活動が行われているのか気になっている人もいるのではないかと思います。今回は2024年1月までの8ヶ月間と限定的ではありますが途中経過を報告させていただこうと思います!

☆営業所別クラブ活動参加人数☆



計30名。会社全体の52%の参加率!

■ 本社 ■ 品川 ■ 品八 ■ 城南島 ■ 板橋 ■ 仙台

7団体で計9回の活動。野球部は3回活動と旧部活動の貫禄!その他にもボーリングやスポーツ観戦、スキースノーボード、芸術鑑賞など新しい活動も♪ちなみに懇親会の参加者は25人(重複なし)。クラブ活動参加者のうち驚異の83%の参加率となりました!!

ここまでの話を聞いて、「え、そうなの!?!」「遠慮していたら損なのでは!?!」と少しでも思ったそのあなた!共通の趣味や興味がある仲間を集めてぜひとも利用してみてください。4月からは補助費も新たにリセットされてご利用できます。せっかくの会社の制度、どんどん利用しちゃいましょう♪



春は気候や雰囲気は大好きなのですが、憂鬱になる季節でもあります。なぜなら花粉があるから。今年は暖冬の影響が分かりませんが花粉症の症状が一段とひどい気がします。ようやくマスクとおさらばだ~なんて思っていたのですがここ数カ月マスク生活に逆戻りです。息苦しい。。いつか一瞬で花粉症が完治する薬が開発されることを信じて。心機一転、気持ちを引き締めて新年度を迎えましょう!

